



学びの虹

東京都立鹿本学園

校長 庄司 伸哉

東京都江戸川区本一色2-24-11

電話 03-3653-7355

2月9日(金)全国公開研究会の報告

本校は都立特別支援学校としてただ1校、東京都教育委員会から「持続可能な社会づくりに向けた教育推進校」の指定を受けております。この研究は平成29、30年度の2年間の研究で、今年度は1年次の成果発表会も兼ねて、全国公開研究会での発表をいたしました。本校では、「持続可能な社会づくりに向けた教育」を障害のある人もない人も共に豊かな人生を送ることのできる「共生社会を築く人材の育成」と位置付け、今年度の研究はS高等部の防災学習を取り上げました。

高等部の生徒が江戸川区や本一色の防災訓練に参加し、様々な体験を重ね、主体的、対話的で深い学びをする中で、障害のある自分たちの存在を地域の人に知らせること、障害がある人が困っていることを積極的に地域の人に伝えることの大切さを実感し、共生社会の担い手としての資質を高めることができました。授業の改善手法として新学習指導要領に示されたカリキュラムマネジメントも取り入れ、高い評価を受けました。

2月20日(火) 交流教育連絡会を開催しました

2月20日、本校と交流教育を行っていただいている、鹿本小学校、鹿本中学校、小岩高校、本一色小学校、上一色南小学校、上一色中学校の管理職、PTA役員、担当の教員が本校に集まり、今年度の活動成果について報告と懇談を行いました。鹿本学園の母校校である江戸川特支、小岩特支の時代から継続している交流教育が、この地域での障害理解と共生社会実現のために大きな役割を果たすことを皆様で再確認することができました。

都立特別支援学校 総合文化祭書道作品展

2月9日(金)から14日(水)の間、都議会議事堂の都政ギャラリーに展示されました。本校からは以下の8作品を出品しました。個性豊かな作品をたぐいまれ校長室前で展示しております。どうぞ御覧ください。

N中3生徒：「大阪」

N中3生徒：「虹」

N中3生徒：「扶」

N中3生徒：「とり」

N中3生徒：「そば」

N中3生徒：「やきにく」

N中3生徒：「五線譜」

N中3生徒：「運筆」

2月17日(土) ハンドサッカー都大会報告

2月17日、駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場で開催した第29回東京都肢体不自由特別支援学校ハンドサッカー大会では、新たに水元小学園を含む都内19校が出場し、優勝を目指して競い合いました。出場校が増えてきたことにより、出場校を風神リーグと雷神リーグの二つに分けての試合になりました。本校は風神リーグにAチーム、雷神リーグには水元小合との合同のBチームが参加。奮戦しましたがAチームは予選リーグ2位で3位決定戦に進出も1点差で敗退。Bチームは予選リーグ3位で予選敗退でしたが、個人の活躍が目立ちました。高等部3年生徒1名が得点王、2名が敢闘賞を受賞することができました。これからも頑張っていきましょう！

2月16日(金) 学校保健委員会を開催しました

2月16日には、学校保健委員会が開催されました。この会には学校医で小児神経科の岩崎先生、内科の渡邊先生、眼科の玉城先生、学校歯科医の芦澤先生、学校薬剤師の高橋先生をはじめ、PTA会長・本部役員の皆様、養護教諭、栄養士、担当教職員が一堂に会し、本校の学校保健活動、給食の状況を報告し、平成30年度の計画について説明後、出席者から御意見をうかがいました。

校医の先生方からは、地域の病院の受診について、様々なアドバイスを頂戴しました。受診にあたり事前に電話で病院に相談することで、受け入れ態勢を整えたり、相談ののってくれたりすることもあるので、どこに連絡したらよいか分からない場合などには、まず校医の先生の病院に連絡してほしいとのありがたいお話がありました。

近隣にかかりつけのお医者様がいると何か症状が出たときの対応でも安心できることを痛感しました。

鹿本学園校長 庄司 伸哉

平成29年度全国公開研究会について

平成30年2月9日に全国公開研究会を実施いたしました。外部から約150名の参加者が来校し、授業参観、セミナー、研究協議会などを通して、外部参加者の方々と本校教職員と一緒に指導方法や学習内容等について様々な視点で学びを深めることができました。開催にあたり、本校児童・生徒と保護者の皆様に御協力いただきました。御礼申し上げます。

○分科会Ⅰ テーマ：「文字や数の理解、文字や数につながる理解を通して考える力を育てる基礎学習」
～1年間の個別学習での児童・生徒の変容から考えるアクティブ・ラーニング～
S小学部5年、中学部1年：数の合成・分解、形の弁別の個別学習を発表しました。

○分科会Ⅱ テーマ：「地域で自立するための力を育むアクティブ・ラーニング」
～小・中・高の指導の系統性を考える～
S高等部3年C学習グループ：多角的・多面的に学んだ防災について発表しました。

○分科会Ⅲ テーマ：「児童が自ら考える・わかる・やり遂げる！授業」
～自ら思考するアクティブ・ラーニング～
N小学部6年2組：児童の言語力の向上や関わり合う力の成長について発表しました。

○分科会Ⅳ テーマ：「生徒がわかる・動く・つながる！作業学習」
～将来につなげるアクティブ・ラーニング～
N中学部クリーン班：振り返り等を通して主体的に学ぶ生徒について発表しました。

研究育成部 全国公開研究会担当 高松 周平

進路指導の取り組み（進路指導部）

≪N部門≫白鷺特別支援学校との連携では、高等部の学習について見通しをもち、先輩の姿を見て授業を体験することを通し、卒業後の進路について考え、イメージを膨らませる中で、自身の課題を意識できるように進路指導を進めてきました。6月に中学部2年生が作業学習見学、中学部3年生が学校公開での授業見学を行い、2月には中学部3年生が作業学習授業体験を実施しました。今後、進路先の学校との連携をさらに深めていくとともに、中学部3年生の進路指導については、保護者の方々と連携を取り合いながら、生徒一人一人に応じたきめ細かい指導を目指していきます。

N部門 進路指導担当 大谷 信介

≪S部門≫今年度の現場実習も保護者の方々の御協力で、無事に終了することができました。現場実習は本校の特色として、中学部3年生から実施して、高等部1年生（希望者）、高等部2年生（原則として全員一箇所）、高等部3年生（進路を決定するための実習）と進んでいきます。2月に入って、高等部3年生全員に、内定決定通知が届きました。あとは残る学校生活を謳歌して、18の春を待つばかりとなっています。中学部3年生、高等部1・2年生は、進路希望調査を基にしながら、3学期の個別面談等で来年度の現場実習先のお話をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

S部門 進路指導担当 寺澤 栄一